



## 平成22年度せたな町高齢者大学入学式



5月25日(火) ふれあいプラザにおいて「せたな町高齢者大学入学式」が行われました。今年度は、北檜山いきがい学園が93名、大成くおん大学が23名、瀬棚

寿大学が22名で合わせて138名が入学いたしました。

式典終了後は、PPK(ピンピンコロリ)研究所長 佐藤光男氏による「笑う顔には福きたる」と題した記念講演が行われ、ピンピンコロリ運動の体験や出席者全員での合唱に、笑顔をいっぱい1日を過ごしていました。

## 「親子懸かり島釣り大会」～せたなっ子健全育成事業～



5月16日(日) 瀬棚区懸かり島において、瀬棚小学校おやじ会と瀬棚教育事務所の共催により「親子懸かり島釣り大会」が行われました。

絶好の釣り日和のなか、朝6時すぎに集まった35名(小学生17名・保護者18名)の参加者は、船で懸かり島に渡ると、竿を投げたとたん「釣れた!」の声が連発。

参加者全員が魚を釣ることができ、とても楽しい大会となりました。



### 大会結果

大物賞平物部門	増田琢斗くん(カレイ34.5cm)
大物賞棒物部門	瀧澤雅洋くん(アブラコ35.0cm)
大 魚 賞	丸山乃貴くん(18匹)

▼人間は忘却の動物である。つい一年ほど前、パンデミック(世界規模での流行)の恐怖におののいた「新型インフルエンザ」さえも、もはや記憶の片隅で薄れてきている。人やモノが地球規模で往来するグローバル化の時代は歓迎できない客も来ないが、災害・災難は忘れた頃にやってくる。ゆめゆめ油断は禁物。「備えあれば…」を心しておきたいものである。

▼国内では十年前にも発生したが、その折は早期対策が奏功して清浄化。今回ほど大きな騒動にはならなかった。これまでは野生動物が媒介して家畜に感染するパターンが多かったが、今回は家畜から野生動物へと逆経路を辿って拡散・拡大することもあるとのこと。事態は予断を許さない。

▼口蹄疫とは、家畜の伝染病のひとつで、蹄(ひづめ)が二つに割れている動物(偶蹄目)が感染するウイルス性の急性伝染病だ。対象動物は、牛、豚、ヤギ、ヒツジ、シカ、イノシシ、カモシカなどである。人間には感染しないし、仮に感染した家畜を食べたとしても人体に影響はないとのことだが…。

▼宮崎県の口蹄疫(こうていえき)問題が波紋を広げている。五月末現在、牛や豚の殺処分数は二十七万頭ともいわれている。何年もの年月を費やし、手塩にかけて育てた牛や豚を殺処分せざるを得なかった畜産農家の心情はやるせないものであつたらう。殺処分は種牛にも及んだ。ブランド牛の中でも上位にランクされる宮崎牛は、一頭の優秀な種牛を養育するのに最低七、八年はかかるという。





## 「ふれあいコンサート in せたな」

### デネブ&ひのき屋公演 ～せたな町合併5周年記念芸術鑑賞事業～

せたな町合併5周年を記念して、6月2日(水)「ふれあいコンサート in せたな」が、せたな町民体育館を会場に開催されました。

出演は、チェコのバンド「デネブ」(初来日)と、はこだてを拠点に世界で活躍する「ひのき屋」のみなさんと、はこだて国際民族芸術祭オープニングツアーとして来町しました。

第1部は、学校公演として町内小学校全児童430名余が一堂に会し、第2部では、一般公演として約140名の町民が、チェコの伝統曲や躍動感あふれる和楽器の演奏をとおしてさまざまな文化の体験・交流を深めることができました。



## ジョン神塚 Japan Tour 2010 in せたな



5月18日(火) 瀬棚町民センターにおいて「19thジョン神塚ピアノコンサート(せたな町姉妹都市交流推進協議会主催)」が行われました。

独奏のほか、連弾やマリンバとのアンサンブルも披露され、会場に詰め掛けた大勢の観客を華麗な音色で魅了していました。

今年のJapanツアーは、せたな町をはじめ、札幌市、函館市、東京都などでコンサートが開催されています。

ジョン神塚(john kamitsuka)氏はニューヨークとローマを拠点に欧米等で幅広く活躍している国際的ピアニストで、父親が旧瀬棚町と米国カリフォルニア州ハンフォード市の姉妹都市提携に尽力されたのがきっかけで、姉妹提携した翌年の1993年から毎年開催されています。